

歴史的音源とは？

佐倉市立志津図書館

「歴史的音源」とは、歴史的音盤アーカイブ推進協議会(HiRAC)がデジタル化した、1900年初頭から1950年頃までに国内で製造されたSP盤及び金属原盤等に収録された音楽・演説等の音源です。全音源数は、約5万音源です。

含まれる音源

落語、長唄、楽曲(ギター、琴、尺八等)、歌劇、浄瑠璃(義太夫節、清元節、常磐津節)、浪花節、歌謡曲、講演、ジャズ等、様々なものが含まれています。音源提供者は、日本放送協会(NHK)、日本コロムビア、ビクターエンタテインメント、キングレコード、テイチクエンタテインメント、ユニバーサルミュージック(EMIミュージック・ジャパン分を含む)です。

収録タイトル例

『謡曲 羽衣』(ニッポノホン、1910頃) 語: 宝生九郎
『落語 うどんや』(コロムビア、1922) 落語: 柳家小さん(3代目)
『富岡先生(新国劇)』(ビクター、1928) 原作: 国木田独步、脚色: 真山青果、出演: 沢田正二郎ほか
『演説 普通選挙について』(コロムビア、1928)(ニッポノホン、1928) 演説: 尾崎行雄
『乙女の祈り』(キングレコード、1960) 作詞: 音羽たかし、作曲: 宮川泰、歌: ザ・ピーナッツ など多数…

利用するには

館内の特定の端末でのみご利用いただけます。お近くの職員にお声がけください。
なお、複製やダウンロードはできませんので、ご了承ください。

